研究推進

＋C（プラスシー）｜中央大学産学官連携プラットフォーム

Creative. Chance, Challenge, etc…
あなたの未来に＋（プラス）したい“C”はなんですか？

「＋C（プラスシー）」は、中央大学の研究者と産業界の担当者が、目指す未来や目標を共有し、その実現に向けて「いい関係」で連携するための情報プラットフォームです。産業界と大学、それぞれのリソースを活かして予測不可能な時代に夢を描き、「パートナー」としてともに新たな未来を描くことを目指し、研究者のビジョンや研究内容、実際の産学官連携事例についてリアリティをもってお伝えしています。

Plus Chuo Univ.

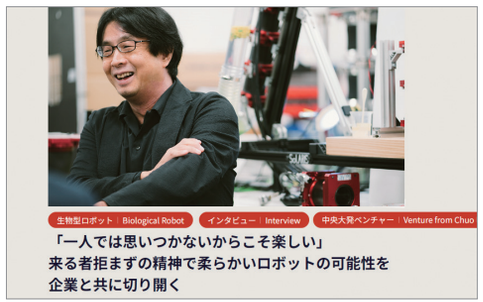
https://plus-c.chuo-u.ac.jp/

Researchers

様々な分野の研究者が現在おこなっている研究活動やその先に見据えるビジョンをご紹介しています。

Collaborations

実際に「いい関係」を築いて連携した企業と研究者との対談や、研究シーズについて研究者にインタビューした記事を公開しています。



科学研究費助成事業の獲得推進

科学研究費助成事業は、人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」を格段に発展させることを目的とした、日本学術振興会・文部科学省によって運営される「競争的研究費制度」です。

本学では、科学研究費助成事業による研究活動を研究の更なる発展や研究成果の社会還元につながる活動と位置づけ、その獲得を推進し、本学における研究活動の活性化に取り組んでいます。

■令和４年度（2022年度）
科学研究費助成事業　採択状況一覧

研究種目	件数	助成金額（千円）
新学術領域研究（研究領域提案型）	2	4,810
学術変革領域研究（A）	4	15,730
基盤研究（A）	6	49,140
基盤研究（B）	38	154,180
基盤研究（C）	143	147,576
挑戦的研究（開拓）	1	10,530
挑戦的研究（萌芽）	9	19,630
若手研究	40	46,020
「基盤研究(C)」及び「若手研究」における独立基盤形成支援（試行）	6	3,900
研究活動スタート支援	8	9,750
特別研究員奨励費	17	18,570
国際共同研究加速基金（国際共同研究強化（B））	5	13,260
研究成果公開促進費（学術図書）	2	2,600
合 計	281	495,696

（2023年3月31日時点）

研究推進支援本部

研究推進支援本部は、本学における全学的な研究活動の活性化を図り、産業界や官公庁等の学外組織との協定、連携を推進するため、2015年4月に設置されました。「知の社会還元・研究の高度化」を目的として、社会の各界との交流を深めることにより、全学的な研究活動の活性化を図り、それによって創出された知的財産の適切な管理・活用を推し進めています。

研究の立案からプロジェクト管理・運営や知的財産の管理、技術移転まで、迅速かつ柔軟な支援を行い、研究の社会還元を実現します。

2023年度には以下の4つの研究ユニットが新設されました

東京東部低地の水災害とその社会的影響ユニット
研究課題：東京東部低地の水災害危険性評価とその社会的影響の研究
専任研究員：平川 大貴 (理工学部教授)、太田 秀樹 (機構教授)、齋藤 邦夫 (機構教授)

地盤環境総括ユニット
研究課題：地盤の変形および振動による既設構造物への影響評価とその保全
専任研究員：平川 大貴 (理工学部教授)、石井 武司 (機構教授)、石原 研而 (機構教授)、齋藤 邦夫 (機構教授)

AI・データサイエンス社会実装ラボ Ⅱ
研究課題：AI・データサイエンスの社会実装に関する実践的教育プログラムの開発・実施及び上記に基づく産学協働オープンイノベーションの実施
専任研究員：鎌倉 稔成 (理工学部教授)、後藤 順哉 (理工学部教授)、高田 まゆら (理工学部教授)、田口 善弘 (理工学部教授)、戸井 武司 (理工学部教授)、中野 純司 (国際経営学部教授)、樋口 知之 (理工学部教授)、大草 孝介 (理工学部准教授)、酒折 文武 (理工学部准教授)、大野 航太 (理工学部助教)、木下 慶紀 (機構助教)、篠崎 絢 (機構助教)

サイゼリヤ食認知価値研究ユニット
研究課題：食認知構造解析の産業応用に関する研究
専任研究員：檀 一平太 (理工学部教授)、久徳 康史 (機構教授)

■世界をリードする多彩な研究ユニット一覧

研究ユニット名	資金提供機関	ユニット責任者
超高齢社会のインフラプロジェクト	民間企業	谷下 雅義 理工学部・教授
沿岸域の自然災害適応に関する研究ユニット	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)/民間企業	有川 太郎 理工学部・教授
持続可能な水・汚泥処理技術ユニット	文部科学省／民間企業	山村 寛 理工学部・教授
ウォーターセイフティ&エマージェンシーメディシン研究ユニット	民間企業	小峯 力 理工学部・教授
分子配向精密制御研究ユニット	日本学術振興会／民間企業／自主資金	池田 富樹 研究開発機構・機構教授
持続可能でレジリエントな河川・流域システムの研究プロジェクト	国土交通省／民間企業	福岡 捷二 研究開発機構・機構教授
VR/ARフィジカルインターラクション研究ユニット	日本学術振興会／民間企業	中村 太郎 理工学部・教授
高齢社会における信託活用のグランドデザインに関する研究ユニット	民間企業	新井 誠 研究開発機構・機構教授
新常態環境下の情報セキュリティに関する総合的研究	警察庁／民間企業	趙 晋輝 理工学部・教授
気象センサー等を活用した水災害科学・水災害情報研究展開ユニット	財団法人／民間企業	山田 正 研究開発機構・機構教授
データサイエンスに基づく水環境の保全と創造・水防災技術の発展	民間企業	山田 正 研究開発機構・機構教授
都市雨水管理の高度化ユニット	港区共同研究／国際共同研究／民間企業	山村 寛 理工学部・教授
気候変動ユニット	環境省	渡邉 正孝 研究開発機構・機構教授
微細藻類の産業利用の研究開発ユニット	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)/民間企業	山村 寛 理工学部・教授
トランスレーショナル認知脳科学研究ユニット	日本学術振興会／民間企業	檀 一平太 理工学部・教授
進化型群AIロボット研究開発ユニット	国立研究開発法人科学技術振興機構	國井 康晴 理工学部・教授
東京東部低地の水災害とその社会的影響	民間企業	平川 大貴 理工学部・教授
地盤環境総括ユニット	自主資金／民間企業	平川 大貴 理工学部・教授
AI・データサイエンス社会実装ラボ Ⅱ	民間企業	鎌倉 稔成 理工学部・教授
サイゼリヤ食認知価値研究ユニット	民間企業	檀 一平太 理工学部・教授

研究開発機構

研究開発機構は、大学の研究に対する社会的需要、学際的複合的な研究の必要性が高まる中で、外部資金を利用した学際的共同研究を推進し、産官学の研究交流を実施するための機関として、1999年に設立されました。

研究活動は、プロジェクトごとに設立された研究ユニットで行われています。各ユニットは研究課題・目的・期間・条件を明確にして、外部資金の範囲内で活動します。これにより、直面する社会的課題に対して、基礎的研究や独創的技術・理論における実際的な成果が期待できます。

研究開発機構の研究施設として、後楽園キャンパスに、個人研究室・共同機器室、会議室などを設けています。また、本機構では、情報ネットワークや事務サポート体制を整え、よりハイレベルな研究成果を創出するための支援を行っています。

研究開発機構
Research and Development Initiative

https://www.chuo-u.ac.jp/research/rdi/